学校番号	104

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校 改訂「地学基礎」（第一学習社）						
副教材等	改訂版 ネオパルノート地学基礎（第一学習社） 新課程　二訂版スクエア最新図説地学（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎では、大きく2つの構成で学習を進めます。「地球の構成」では、現在の地球の姿を時間的な視点や空間的な視点で捉えます。「地球の変動」では、地球の誕生から現在に至るまでの変動の歴史とその仕組みを理解します。この科目は、ミクロな世界からマクロな世界まで幅広く学習します。地球と宇宙の成り立ちを学ぶことで、身の回りで起こるさまざまな自然現象に興味を持ち、科学的な視点で物事を捉えていけるようになることを目指します。復習では、授業の振り返りを行うとともに、問題集などを活用して多くの問題を解き、理解を深めるよう努めてください。

2　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえることができる。自ら課題を設定し、地球の環境と人間生活との関わりについて理解する。
・プレートの運動や地殻変動などの地球の構造や、地震・火山などの地球の活動、地球の大気と海洋の働きなどの環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い、科学的に探究する資質・能力を身につける。
・地球の現在に至るまでの過程について、概念や原理・法則を理解するとともに、現在までの地球規模の自然環境および生物の変遷について地学的な見方や考え方を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行う。 事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現することができる。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第一章　地球のすがた	・地球の姿 ・地球の内部構造 ・プレートの分布と運動 ・地殻の変動と地質構造 ・変成作用	a:地球の形とプレートの運動との関連を理解し、知識を身に付けている。 b:地球の大きさと形を考察し、導き出した正確な形を表現することができる。また、火山分布や火成岩の分類、プレートの動きや地震の種類について物理的に判断する方法を習得している。 c:地球の姿に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 観察・実験
	第二章　地球の活動	・地震の発生と分布 ・地震波の伝わり方 ・日本付近で発生する地震 ・火山の分布 ・火山の形成とマグマ ・火成岩の形成と種類	a:地震や火山の活動の様子や災害との関連を理解し、知識を身に付けている。 b:火山分布や火成岩の分類、プレートの動きや地震の種類について物理的に判断する方法を習得している。 c:地震や火山に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 観察・実験

2	第三章　大気と海洋	・大気の構成と特徴 ・太陽放射と地球放射 ・地球を出入りするエネルギー ・風 ・大気の大循環 ・海洋の大循環 ・エルニーニョ現象とラニーニャ現象	a:大気と海洋の相互作用や緯度によるエネルギー収支について理解を深め、それらの知識を身に付けている。 b:大気圏の構造を理解し、高度に対する気温の変化について適切に判断することができる。太陽放射と地球放射の違いについて表現することができる。また、大気の循環について理解し、気象衛星の画像や雲の動きで観察したことを記録し、図に表すことができる。 c:地球の大気組成、熱収支に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 観察・実験
	第四章　宇宙と地球	・宇宙の構成 ・太陽 ・太陽系の中の地球	a:太陽系や地球の誕生と進化を理解し、知識を身に付けている。 b:太陽系、地球、人体などの元素の割合を調べてグラフで表し、それぞれを比較することができる。また、その構造について言い表すことができる。 c:宇宙の始まりに関心をもち、意欲的に探究しようとする。	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 観察・実験

3	第五章　生物の変遷と地球環境	・地層の形成 ・堆積岩 ・化石と地質年代 ・先カンブリア時代 ・古生代 ・中生代 ・新生代	a:堆積物、さまざまな地質構造、変成作用について理解し、知識を身に付けている。また、化石や地層のボーリングデータを観察し、それらのでき方や堆積環境を地質学的に求めることができる。 b:造山運動や地層の堆積環境に関する探究活動を行うことで、地殻変動の歴史を推定し、堆積順序を判断することができる。 c:地層の対比、化石の見分け方、年代測定法について関心をもち、意欲的に探究しようとする。	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 観察・実験
	第六章　地球の環境	・気候変動 ・オゾン層の変化 ・自然の恩恵 ・気象災害 ・地震災害 ・火山災害と防災	a:地球の環境、自然災害について理解し、知識を身に付けている。また、日本の四季に関係するデータに基づくグラフを作成し、自然環境の変化を読み取ることができる。 b:日本国内での気温の変化や災害に関する探究活動を行い、原因やメカニズムについて考察できる。 c:地球上で起こるさまざまな自然現象について関心をもち、環境変化について意欲的に学習しようとする。	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 プリント ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 観察・実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度